



宮城県

記者発表資料
令和5年3月1日（水）
環境生活部自然保護課
野生生物保護班
022-211-2673
担当：後藤・仁木

野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルスの確認について

令和5年2月23日（木）に、栗原市で回収されたオオタカの死亡個体1羽について、国立研究開発法人国立環境研究所（茨城県つくば市）で遺伝子検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルス（H5亜型、高病原性）が検出された旨の連絡がありましたので、お知らせします。

場 所	種 名	回収日	簡易検査	遺伝子検査
栗原市	オオタカ	R5. 2. 23 回収1羽	R5. 2. 24 検査結果：陽性	R5. 3. 1 検査結果：H5亜型高病原性鳥インフルエンザ

1 経緯

- 令和5年2月23日（木）午後4時頃、県民から栗原市役所に栗原市内で死亡しているオオタカを発見した旨の連絡があったため、同市役所職員が現地に向かい、死亡個体1羽を回収しました。
- 同年2月24日（金）、北部地方振興事務所栗原地域事務所にて簡易検査を実施したところ「陽性」であったため、環境省が回収地点から半径10km圏内を野鳥監視重点区域に指定。
- 本日（3月1日（水））、自然保護課に環境省東北地方環境事務所から、国立環境研究所で遺伝子検査を実施したところ、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出された旨の連絡がありました。
- 本事例は、今シーズン県内では14例目の野鳥における高病原性鳥インフルエンザ確認事例となります。

2 今後の対応

今回指定された野鳥監視重点区域を管轄する関係地方振興事務所において、野鳥監視パトロールを継続して実施します。

3 留意事項

死亡した野鳥を見つけた場合には、素手で触れたりせず、県環境生活部自然保護課または発見場所を管轄する地方振興事務所（地域事務所）林業振興部までご連絡ください。

【参考URL】<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogo/toriinfurumadoguchi.html>

4 取材について

現場での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点及び風評被害防止の観点から、厳に慎むようお願いいたします。

5 参考情報

環境省では、ホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。

【参考URL】https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/